

第2回審議会で示した基本目標（案）

第2回審議会で示した基本目標（案）

● 基本目標一覧

| 基本目標 | |
|------|-----------------------------|
| ① | 未来を創るこどもたちが夢と希望をもって健やかに育つまち |
| ② | 誰もがずっと笑顔でいきいき暮らせる、彩り豊かなまち |
| ③ | 安全・安心で快適な、世界に誇れる魅力的なまち |
| ④ | 活気あふれる産業と豊かな環境が調和し、躍進を続けるまち |

第2回審議会で示した基本目標（案）

●基本目標①

未来を創る子どもたちが夢と希望をもって健やかに育つまち

子どもたちが、よりよい未来を創り出す力をもち、笑顔で元気に育つことが、大田区の明るい未来へとつながります。

また、子どもたちが豊かな愛情に包まれ、自分らしく成長することにより、まちは思いやりと活気に満ちあふれます。

明るく活力のある大田区を実現するためにも、

子どもたちが夢と希望をもって健やかに育つまちを目指します。

- 子どもの権利が守られ、子どもたちが将来に希望をもって育っています。
- 子どもたちが安全・安心で自分らしく過ごせる居場所や楽しくのびのびと遊ぶ場所が充実しています。
- 子どもたちがあたたかいまなざしに包まれ、地域全体で子育て・子育てを支えています。
- 希望する誰もが、安心して子どもを産み、育てることができ、子どもたちが愛情を注がれて健やかに成長しています。
- よりよい未来を創り出す力をもち、世界中の人と関わりながら活躍できる人材が育っています。
- 一人ひとりに寄り添う教育により、すべての子どもが自分らしく輝いています。

第2回審議会で示した基本目標（案）

●基本目標②

誰もがずっと笑顔でいきいき暮らせる、彩り豊かなまち

いつまでも充実感のある毎日を過ごすためには、心と体どちらも健康であることが大切です。

そのためには、すべての人々に活躍の場があり、つながりあえること、また、文化や芸術といった、心を豊かにしてくれるものと気軽に出会えることで、笑顔があふれ、元気に暮らせる社会をつくることが重要となります。

生涯にわたり、個性をお互いに認めあいながら、誰もがいきいきとした生活を送ることができるまちを実現します。

- 一人ひとりに、社会の中での役割や生きがいがあり、年齢を重ねても、自分らしい暮らしを送っています。
- 社会的包摂（ソーシャル・インクルージョン）の考え方が日常に溶け込み、あらゆる人にとって快適で、暮らしやすくなっています。
- 言語や慣習、属性の異なる人々がお互いを尊重しあい、笑顔で自然に交流しています。
- 孤立を感じることなく、つながりを通じたあたたかさに触れられるまちになっています。
- 気軽にスポーツを楽しみ、健康づくりに取り組むことで、生涯にわたっていきいきとした生活を送っています。
- 区の多彩な文化や芸術、歴史や伝統に触れることで、心が潤い、幸せを感じる区民が増えています。
- 自由に学びを深められることで、質が高く心地よい暮らしを送ることができています。

第2回審議会で示した基本目標（案）

●基本目標③

安全・安心で快適な、世界に誇れる魅力的なまち

安全だけでなく安心であり、日々の生活を快適に過ごせることは、誰もが住み続けたいと思えるまちの実現につながります。

また、23区で唯一空港を有している強みをまちの活力につなげていくことも重要です。そのために、ハード・ソフトの両面から都市の強靱化を進めるとともに、多様な地域特性を踏まえた安らぎと活気あるまちづくりを進め、世界に誇れる魅力的なまちを目指します。

- 強靱な都市基盤の整備と地域の連携の強化により、安全や安心が確保され「大田区だから大丈夫」と思えるまちになっています。
- 利便性の高い交通ネットワークの整備により、誰もがどこへでも気軽に移動できるようになっています。
- 鉄道沿線から広がる活気あるまちづくりや、空港を持つ強みを生かしたまちづくりを通じてにぎわいと交流が生み出されています。
- 安心で快適な住環境の整備により、誰もがずっと住み続けたいまちになっています。
- 地域の特性を生かした、多様な特色をもつ公園が充実しています。
- 身近な場所で触れ合える水やみどりがあり、多様な生物も息づく安らぎのあるまちになっています。

第2回審議会で示した基本目標（案）

●基本目標④

活気あふれる産業と豊かな環境が調和し、躍進を続けるまち

都内有数の産業集積の維持・発展と新たな産業の創造を通じた産業の絶え間ない成長は、区の活力を将来にわたって高めていくことにつながります。

また、経済や社会の基盤である環境を将来の世代に引き継いでいくためには、地域社会のすべての主体が環境に対する高い意識を持ち、「自分ごと」として行動をともに起こしていくことが大切です。

区内企業が環境に配慮した形で成長を遂げるとともに、あらゆる人々に浸透した環境への意識が行動につながることで、産業の成長と環境の保全が調和し、持続的な成長を続けるまちをめざします。

- 区内企業が社会環境の変化に柔軟に対応することにより、生産性の向上や産業集積の維持・発展につながっています。
- 誰もが新たにチャレンジできる環境で、業種の垣根を超えたより一体的な協力関係の形成により、新たな産業やサービスが生まれ出され、区内企業の「稼ぐ力」が向上しています。
- 磨き上げられた「大田区ブランド」が世界に向けて発信され、にぎわいや経済の活性化につながっています。
- 自分の行動が未来の環境を大きく左右するという意識を誰もが持ち、環境に配慮した行動を実践しています。
- 次世代クリーンエネルギーや新技術の活用を含む脱炭素への積極的な行動により、カーボンニュートラルの実現に向けた歩みを着実に進めています。
- 資源を無駄なく利用する意識が浸透し、循環型社会が形成されています。